

# 地域のパワー 皆さんに感謝

Voice

学校の声

## 望ましい地域の姿 しっかりとした計画

あんなに、プールに子供たちの笑い声が満ちているのは、はじめてのことですよ。うれしいですね。  
実はこのプール開放のお話は、今年の四月中旬に、地域の方々からありました。子供たちの豊かな成長の場、地域の交流の場をつくりたい、先生方には負担をかけず、自分たちで自主運営をしたい、という趣旨のお話でした。私たちにとても望ましい姿であり、しかもしっかりとした計画でした。そのため、学校の先生方、市教育委員会などと協議し、私どものプールの使用



豊栄市立早通南小 校長

許可を正式に代表の方に伝えました。たしか五月十一日でした。

## 学校も地域の一員、 地域の役に立てればと応援

プールを一定期間、地域の皆さんに開放するに当たり、事前にプールの補修工事をさせていただきました。また、プールを利用する地域の皆さんが、直接プールに入れるように、グラウンド側に入り口を設けました。さらに、利用者名簿、監視日誌を提案させていただきました。これは、何か不測の事態が起こった場合、貴重な資料にもなりますし、プール運営の参考資料にもなります。学校も地域の一員です。皆さんのお役に立ちたいと考えました。



開放されたプールの一コマ

## 子供たちの豊かな成長に 今こそ地域の方が必要

今日、子供たちへの新たな教育環境として、地域、学校、家庭との関係が問われています。そこで、学校では、



受付風景

中学校区を単位とした「どきどき学校委員会」を設置して、地域の皆さんとさまざまな事業を展開しています。早通南小学校では、「地域クリーン作戦」「交流図書室」「どきどきかわらばん」などで、地域の方々と交流を結んでいます。お互いのしっかりとしたコミュニケーションが、地域を生かし、子供たちを生かしていきます。

今回の地域の方々の自発的な動きも、地域を豊かに耕す記念すべき第一歩だと考えます。それが地域の個性ではないでしょうか。これまでのように、学校からの一方的な働きかけでは限界があるところでは、これからも、地域の皆さんの活躍に期待します。地域と子供たちのために。

# いい汗流して 地域づくり



横山 道則 52歳  
豊栄市早通出張所所長

Voice

行動の声

## 思い切り 仕掛けられました

今年の四月に早通出張所所長として異動してきました。前所長からプール開放の話は聞いていましたが、異動早々、地域の皆さんに思い切り仕掛けられましたよ(笑い)。皆さんのお話を聞いてましたら、地域に対する思い、子供たちに対する思いが、ひしひしと伝わってきました。地域の息づかいを感じながら、地域を考え、地域の方々と共に行動したいと思っていましたので、私にとつては幸いでした。



新興住宅地として発展する早通地域

## 地域の新たな出発 「中学校区単位での コミュニティづくり」

五月二十日、早通出張所にとつて、プール開放の話が具体的に動き出した日です。この日、地元のさまざまな団体の長が集まり、「早通南小学校プール開放実行委員会」が組織されました。私も、実行委員会の事務局として参加することになりました。

現在、市は「中学校区を単位としたコミュニティづくり」を、地域づくりの一つの指針として進めています。これからは、地域の結び付きが一番、地域をそれぞれが考え結び合いながら、

行動しはじめると、今の教育問題も、お年寄りの福祉問題も、身近な生活環境問題も、どんどんよくなる、ということでしょうか。今、連帯感が薄れ、顔の見えない地域社会は、いろんなところで、暗い影を落としています。今回のプール開放は、早通地域の結び付きを強め、顔の見える地域へと向かうためには、ぴったりのテーマでした。

## 地域の一体感と 高めた早通地域

早通地域は、昭和四十年代の初めまで、早通本村前に広がる田園でした。昭和四十四年に県営住宅団地の三棟が完成して、早通駅周辺が徐々に開発されていきます。平成五年、アイリスニュータウンの造成、平成十年、チェリーアップニュータウンの造成。現在、一万人を超える人々が暮らしています。新興住宅地、新潟市のベッドタウンとして発展し、人口が急増する早通地域。つまり、地域の連帯感、豊かなコミュニケーションが最も必要な地域といえます。子供たちはここで確実に成長し、お年寄りたちは、このまちに生涯を託しています。こういったことから、プール開放を行った地域の皆さんの動きは、高く評価することができます。

今、私はプールサイドに日除けを作ったり、子供たちと遊んだりという汗を流しています。プールで遊んでいた子供たちと街で出会うと、自然と口元が緩み、あいさつなんかするんですよ。